



# コンパス

平成29年7月21日発行 第3号

今回は、高等部の校内・現場実習、そして中学部校内実習について紹介いたします。また、裏面では7/14のPTA 進路学習会で得られた情報や質疑応答の内容等を掲載しておりますのでぜひご一読ください。

## 高等部校内実習



リサイクル作業

空き缶をきれいに洗い、薄くつぶす作業に取り組みました。このほか、空港からの委託作業としてはんこ押しの作業も行いました。



花壇・農作業

暑い中、農作業や花壇の整備にも黙々と取り組みました。校舎脇の花壇には、均等に間隔を取り苗を植えました。その他、畑でにんじくの収穫や、除草など行いました。



清掃作業

校内の至る所をきれいにしました。ビルクリーニングの基本に添って清掃を行いました。スクイージーを使用した窓拭き作業など、丁寧に取り組みました。

## 高等部現場実習



ザ・ビッグ

商品の陳列や品出しをしました。商品のパッケージの向きに気を付けて並べたり、足りない商品を補充したりしました。



吉野学園（ひまわり班）

ひまわり班のみなさんと共に散歩をしたり、機能訓練として手指を使った細かい作業をしたりしました。



ケアタウンたかのす

館内の清掃や、ごみを回収する作業をしました。学校で練習してきたダスタークロス清掃を生かすことができました。

## 中学部 校内実習



油スイートルン♪の製作  
(パルプの攪拌)

「油スイートルン♪」を作る作業に取り組みました。パルプをミルキキサーにかけて攪拌する作業は、時間を計りながら仕上がりが均等になるように行いました。実習期間中で5枚1セットの商品が26セット仕上がりました。



油スイートルン♪の製作  
(フィルムはがし)

「油スイートルン♪」の素である牛乳パックのフィルムをはがす作業では、表と裏の両面をていねいにこはがすことをがんばりました。実習が初めてとなる1年生も、先輩たちと一緒に時間をいっぱい取り組みました。



農作業

地域の先生に教わりながら、スナップえんどうやたまねぎ、にんじくの収穫を行いました。また、しいたけのほだ木の天地区し作業や、花壇の整備にも取り組みました。暑い中でしたが、てきぱきと作業を行うことができました。

◎7月14日(金)の、たかのす校PTAにおいて、進路学習会が行われました。グループごとの主な内容を下記に示してみました。ご覧下さい。

◎北秋田障害者就業・生活支援センターグループ(講師:佐藤宏満 主任就業支援員)

Q 就業・生活支援センターへの登録について

A 高3後期での「移行支援ネットワーク会議」で関係者が集まったの登録というタイミング。

Q 支援期間、巡回の頻度などについて

A 基本はずっと。はじめは週1回、よければ週2回、月1回程度、必要に応じて職場や家庭を訪問する。本人が要らない、といっても事業所では必要な場合がほとんど。

Q 高等部が見える年になって、「一人暮らしや就職」について考えているようだが、実際できるのか?

A 一人暮らしはお金がかかる。平均的な給料は8~9万で、純粋には無理(高い人で15万ほど稼げる人がいたが、これでかつかつという感じ)。障害基礎年金(65,000円程度)を合わせてなんとかできるかもしれない(申請についての支援もできます)。グループホームだと食事がついて4万くらいで利用できるの、とりかかりとして考慮の余地あり。

Q 保護者のいうことに反抗する様子が見られるが、就労先でも同じようなことが起きないか不安。

A 反抗期は、誰も通る道で、これまで見てきている限り、家庭で反抗しても職場では違う人が多い。ある意味使い分けているのであり、「社会性」の成長の一面とみた方がよい。

◎厚生園グループ(講師:櫻井孝良 施設長)

Q 工賃について

A 工賃 就労継続支援B型 … 月15,000円~20,000円程度  
生活介護 … 月1,000円~6,000円程度

Q 各作業班、作業内容の説明について

A 利用者さんの希望や能力等により、木工、クリーニング、環境班に分かれて生産活動を行っている。作業は、県内外の企業から受注で、製鉄製錬工場の生産工程で使用する品質検査器具の製造、工業用モーター梱包木枠加工、スポーツウェアはさみカット、業務用リネン等のクリーニング、学習教材の商品梱包など。

Q 働くにあたって身に付けておきたいこと                    A 時間を守ること

Q 自分の子どもがどこに(B型、生活介護)あてはまるか、分からない。

A 厚生園では生活介護を利用していて作業能力によってB型に変わるケースもある。また、逆のケースも。生活介護の事業所でも生産活動に重点をおいているところと介護を中心に行っているところがあるので、直接、施設見学することをお勧めします。

◎大野岱吉野学園グループ(講師:佐藤厚子 園長補佐)

Q 吉野のデイサービスは送迎しているか。

A 基本していない。県に児童棟の短期利用の申請は来年度に向け行う予定だが、今年度、児童は利用できない。来年の4月からは利用できる予定である。また、今年、児童棟の増改築の予定だったが、児童については3年延びた。(成人棟は、今年度増築する。)

Q 卒業後、日中利用(短期)できるのは何人。時間は決まっているか。

A 1日2人定員。利用時間は決まっていない。また、1週間を通しての利用は難しい。利用できる人数については、職員が増えないと増やすことは難しい。日中利用できる人数は職員の数にもよる。生活介護を1人増やすためには、職員も1人増えなければならない。入所の方も日中は生活介護になるため、通いの生活介護を増やすのは、なかなか難しい。入所の人数の枠の中で、できる限りの利用となる。

Q 親ができることは何か。

A 障害者の親の会というのがある。どんどん保護者の声を出してほしい。

◎ 新しい建物は成人棟(15人)の予定。改築が3年延びたため、来年の児童棟の入所希望はなくなった。児童棟は、このままの体制でいくことになった。今年度、児童棟は屋根と外壁は直す。